

# 介護人材確保対策の強化に向けた緊急提言

## 【背景】

2020年代初頭には約20万人の介護人材が不足すると推計され、「介護離職ゼロ」の実現に向けた介護基盤の整備により、さらに追加的に5万人の介護人材が不足すると推計されている。

## 参入促進・人材育成

- 介護職への否定的なイメージが定着
- 労働力人口の減少により人材確保が困難
- 介護職の専門性が不明確で役割が混在
- 法人の連携等を支援する環境が整っていない

### 1 多様な人材の確保と人材育成

- 国を挙げた介護への理解促進とイメージアップへの取組
- 外国人人材等の参入促進の取組強化
- 認定介護福祉士等の専門性の明確化
- 法人の連携等体制強化のための制度の構築

## 離職防止・定着支援

- 全産業に比して賃金が低い
- キャリアパスの仕組みが確立されていない
- 認証評価制度の導入が進んでいない

### 2 介護従事者の処遇改善

- 介護従事者全体の賃金の底上げ
- キャリアパスの構築と賃金の連動
- 認証評価制度の一定基準の明示

- 離職率が高く勤続年数も短い
- 「結婚・出産・育児」が離職理由の最上位
- 身体的負担が大きい
- 利用者情報や報酬請求に係る膨大な資料

### 3 労働環境の整備と業務負担軽減

- 労働部局との連携強化による労働環境整備
- 子育て支援環境の整備
- 介護ロボットの導入促進による業務負担軽減
- ICT活用促進による業務効率化

緊急に取り組む必要がある

### 4 地域医療介護総合確保基金の財源確保と効果的な活用